土地・気象

地　勢

三重県は、日本列島のほぼ中央、太平洋側に位置し、東西約80km、南北約170kmの南北に細長い県土を持っています。

県土は、中央を流れる櫛田川に沿った中央構造線によって、大きく北側の内帯地域と南側の外帯地域に分けられます。

内帯地域は東に伊勢湾を望み、北西には養老、鈴鹿、笠置、布引等の山地・山脈が連なっています。

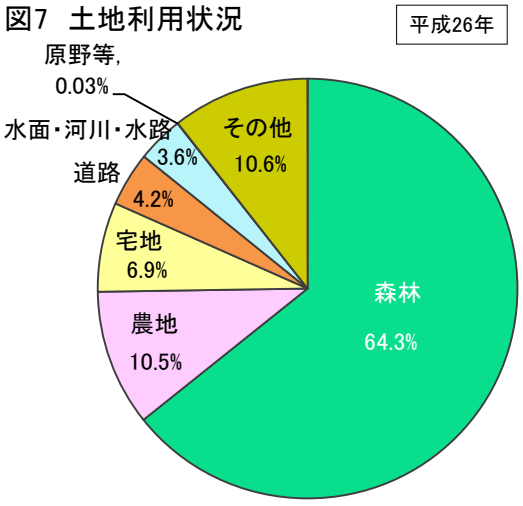
一方、外帯地域の東部はリアス式海岸の志摩半島から熊野灘に沿って南下、紀伊半島東部を形成し、西部には県内最高峰1,695mの日出ケ岳を中心に紀伊山地が形成されています。

土　地

平成28年10月1日の総面積は5,774.41㎢で、全国37万7,971.57㎢（北方地域及び竹島を含む）の1.53%を占め、面積順位では25番目となっています。

平成26年の県土の利用状況をみると、森林が総面積の64.3%を占め、農地10.5%、宅地6.9%と続いています。

図7　土地利用状況



資料　県水資源・地域プロジェクト課

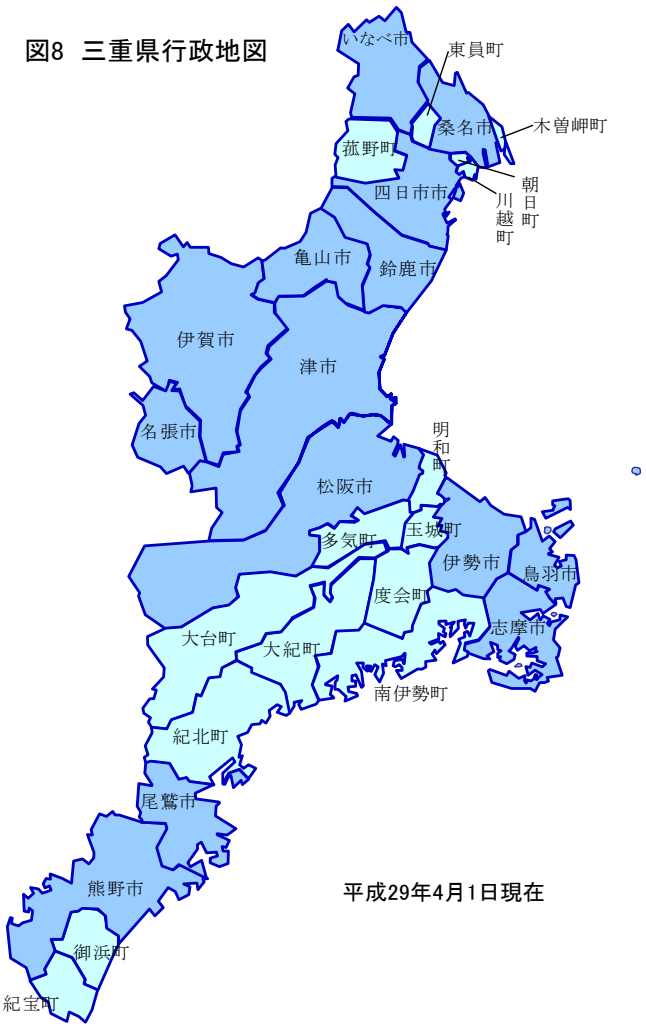
県の位置

方位	地　名	経　緯　度
東端	鳥羽市神島町	東経136° 59′ 15″
西端	熊野市紀和町	東経135° 51′ 12″
南端	南牟婁郡紀宝町	北緯 33° 43′ 22″
北端	いなべ市北勢町	北緯 35° 15′ 28″

行政区画

明治22年に三重県に市町村制が施行された当時の市町村数は1市18町317村の336市町村でしたが、その後の市町村合併により昭和48年に69市町村となりました。平成15年11月までは69市町村でしたが、平成の大合併により、平成29年4月現在の市町数は、14市15町の29市町となっています。

図8　三重県行政地図



平成29年4月1日現在

気　候

内帯地域中、海岸地帯に位置する津市の気候は、年平均気温15.9℃（平年値:1981年～2010年の30年間の平均値、以下同じ）年平均湿度69%と比較的温暖で過ごしやすいところです。

これに対し、内帯地域の西側、布引山地等に囲まれた伊賀盆地にある伊賀市の年平均気温は、14.2℃と県内で気温を観測している観測所のなかでは最も低く、夏冬や朝夕の温度較差が大きい内陸型の気候の特徴を示しています。

外帯地域東側の海岸地帯は、黒潮の影響で温暖な地域が広がっており、その南側、熊野灘に面した尾鷲市の気候は、年平均気温16.1℃と四季を通じて暖かい海洋型の気候となっています。又、年平均降水量は3848.8mmと、全国でも有数の多雨地帯となっています。

図9　年平均気温(℃)・年降水量(mm)

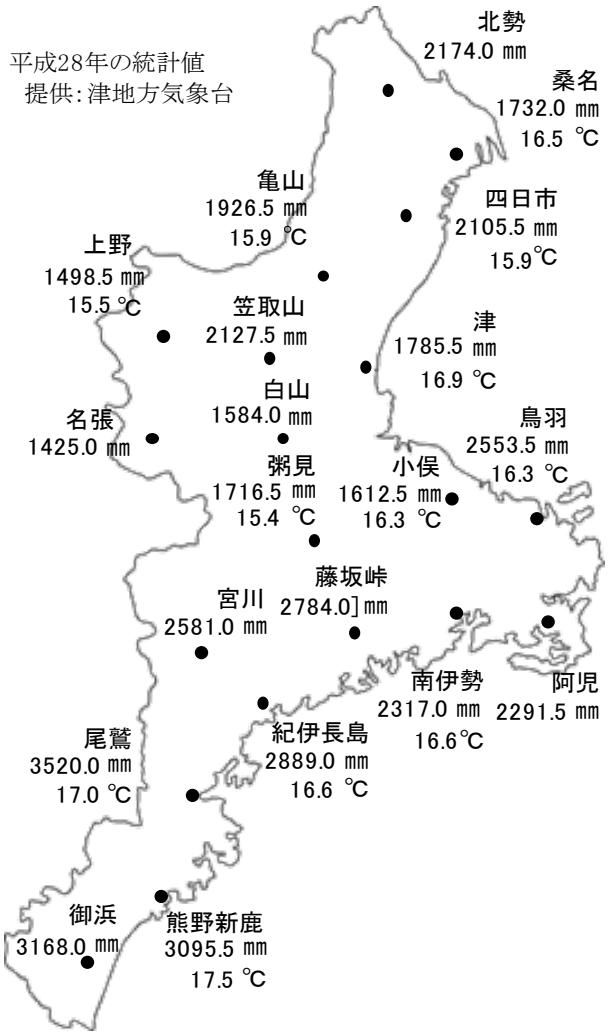
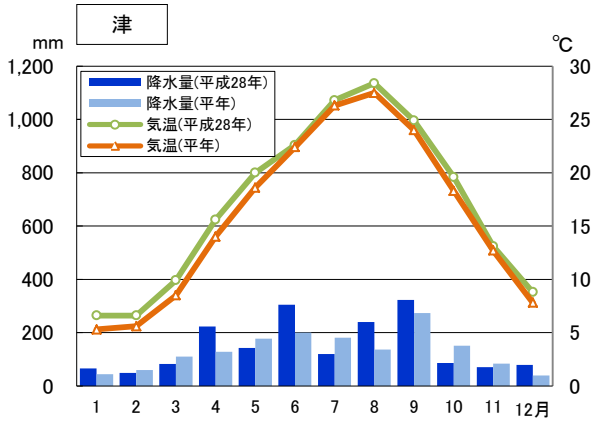
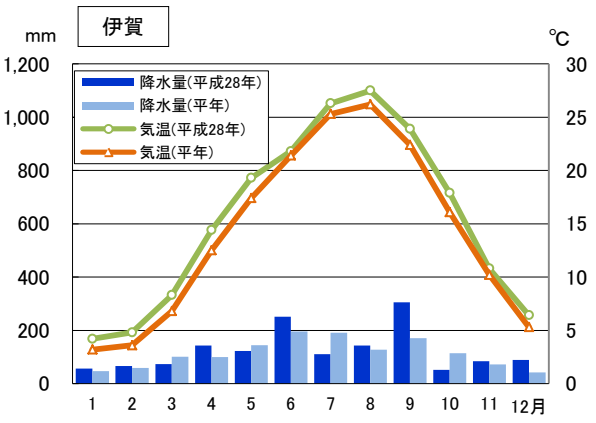
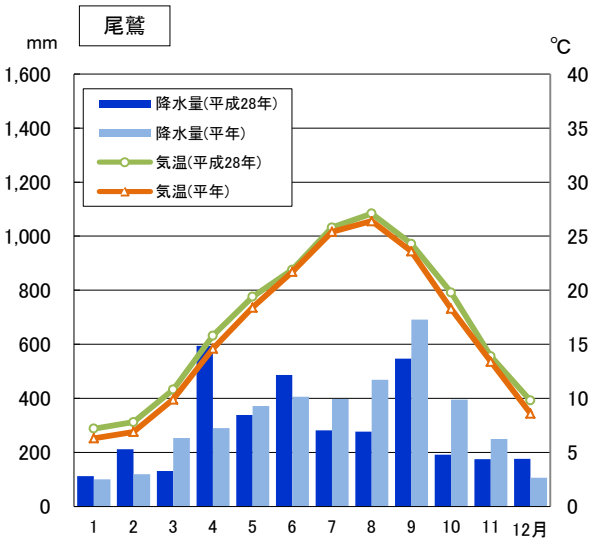


図10　気候・降水量の月変化図







資料　津地方気象台